

地下水保全顕彰制度 最優秀グランプリ紹介

最優秀グランプリ：KMバイオロジクス株式会社



KM バイオロジクス株式会社は、2018 年 7 月に一般財団法人化学及血清療法研究所（化血研）の主要事業（ヒト用ワクチン、動物用ワクチン、血漿分画製剤、新生児マスキリーニング検査）を承継した会社です。“予防、治療のプロフェッショナルとして生命科学の可能性に挑戦し続けることで、世界の人々の健康で豊かな未来に貢献する”ことを企業理念としています。さらに、明治グループの傘下企業として、グループが掲げている“サステナビリティと事業の融合”を最重要テーマの一つと位置づけています。



地下水保全に関する活動としては、白川中流域での水田湛水事業への協力を、前身の化血研時代から継続しています。加えて 2024 年度からは、くまもと地下水財団の冬期湛水事業にも参画しており、この二つの事業を合わせると、現在は、約 120 万 t の地下水を涵養していることとなります。また 2023 年度までは、「ウォーターオフセット米」の購入推進も行うなど、多面的に熊本の涵養事業の促進に協力しています。

事業所の一つである菊池研究所では、2023 年度に新設した太陽光パネル設備の敷地内に、雨水を地下に浸透させるためのトレンチや側溝を設けたり、同研究所内の「くまもと ともれびの森®」（環境省の自然共生サイトや、都市緑化機構の SEGES のステージ 3 に認定）の活用（涵養地としても）を推進するなど、地下水の保全・育水に取り組んでいます。また、熊本事業所内では地下水を再利用する「中水システム」の活用を促進し、節水に取り組み、所有する井戸の適切な管理や、地域農家への農業用水の供給、事業所からの排水時の水質管理にも常に留意した事業活動を行っています。



豊かな水環境があるからこそ私たちの事業活動が行えています。自然の元本を食いつぶす経営はもはや許されません。世界の潮流としても、環境保全を重要課題と位置付ける「ネイチャーポジティブ経営」が必須となっており、その姿勢を示すのは企業の責務です。KMバイオロジクス株式会社は、熊本に生きる企業としての責務を果たし、そして地元への恩返しとして、社会価値と経済価値の双方の創出＝サステナビリティと事業の融合を目指し、これからもますます熊本の地下水や環境の保全に貢献できるように努力して参ります。

